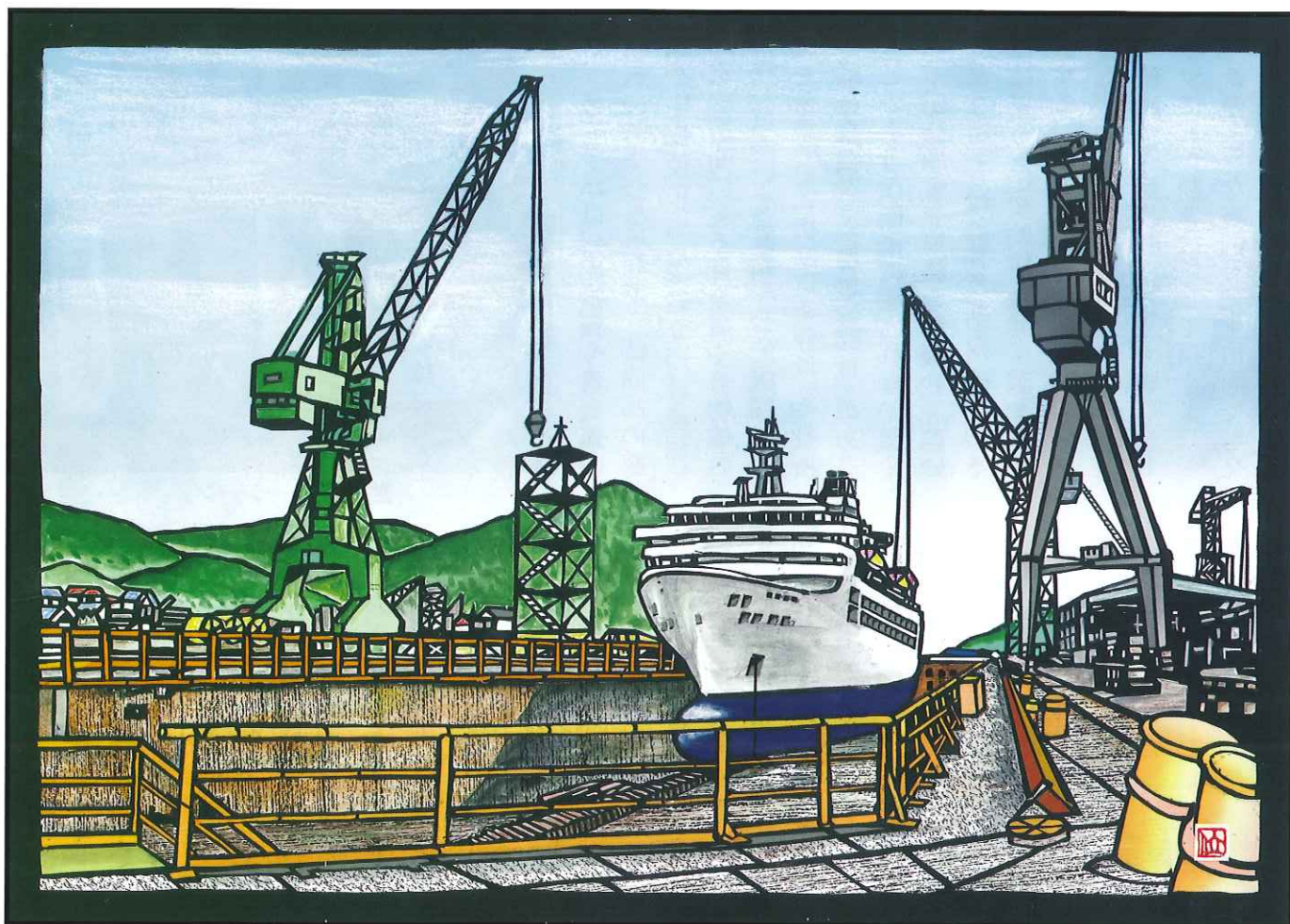


相生さん

相生・上郡

(公社)相生・上郡広域シルバー人材センター 相生市山手2丁目123番地
TEL 0791-22-4050 FAX 0791-23-3345

ホームページ <http://www.aioikamigori-sjc.or.jp>



剪画「豪華客船のドック入り」大道 位久男氏 作

安全掲示板

1 高所作業時の安全対策

- ◆脚立・三角梯子使用時の足元の安全確認
- ◆安全保護具・安全帯の使用

2 交通安全意識の啓蒙

- ◆自転車乗車交通安全講習会の実施
- ◆交通ルール・マナーの遵守



主な内容

■総合P2

- ・安全適正就業講習会
- ・介護事業月例研修会

■事務局便りP3~P5

- ・相生地区懇談会
- ・環境改善視察研修
- ・中長期計画策定委員会視察研修
- ・清掃ボランティア活動

■会員の広場・親睦会便り ...P6~P8

- ・手記「ヘルパーを振り返って」
- ・親睦会旅行
- ・投稿「利用者からの礼状」
- ・作品紹介
- ・会員の入退会状況



「安全適正就業講習会開催」

「全国シルバー人材センター安全強化月間」に合わせ、7月19日(土)、相生市立総合福祉会館において相生・上郡地区会員70名が参加して



山本肇理長

「安全適正就業講習会」を開催しました。

より、県下のシルバー人材センターの死亡事故の内容の報告、当センターとして「安全強化月間」を契機に安全就業への取り組みをお願いしたいとの挨拶がありました。

続いて、西角安全担当より今年度の安全成績および事故の概要の報告がありました。最近特に就業途上で交通事故が多発しており、交通规则、マナーを遵守し、安全確認を行うよう要請がありました。

講演会では、

相生市消費生活センター会員による「悪質商法にだまされないお話」と題して講演



長谷川相談員

と朗読劇がありました。

講演は、長谷川相談員から、高齢者を狙った新手法の悪質商法や詐欺による被害が発生している



朗読劇の一シーン

る。その手口は、①投資や貴金属の購入の「買え買え詐欺」②商品の郵送や宅配便による「送りつけ商法」③家庭訪問による貴金属や着物等の「押し買い」④警察や公的機関の職員を名乗った「振り込め詐欺」や役所の職員を装った「還付金詐欺」がある。このような商法に騙されないために、①訪問者を家に入れない②「いいません」とはっきり断る③儲かる話は疑う④契約する前に誰かに相談する。などはっきりとした対応が必要だというお話でした。

から心掛けておきましょう。困ったことや疑問に思うことは、相生市消費生活センター(相生市地域振興課内)電話0791・23・7130へ相談して下さい。最後に、相生警察署・小河警部補から相生警察署管内における「振り込め詐欺」の実態と被害状況の報告があり、「振り込め前に警察署に相談して下さい」とのお話でした。

「介護月例研修会実施」

ヘルパー室 岡田 時子

8月28日(木)、当シルバーセンター事務所二階会議室において、介護ヘルパー等23名が参加して月例研修会を行いました。

今回は、西はりま消防組合相生消防署の救急救命士さん1名に来て頂き、「救命処置の対応」をテーマに講義と実技の訓練を受けました。

私達が出来る救命処置は、事故や急病で倒れた人を救急車が到着するまでの応



急的な処置で、119番通報と迅速な行動が求められます。

救命処置には、「心肺蘇生術とAEDの使用」があります。まず、「心肺蘇生術」は、意識の有無の確認と気道確保から始まり両手で心臓マッサージ、「いち、に、さん・・・」と数えながら両手で心肺を強く押すことを何回も繰り返し意識回復を行います。これは、体力が必要で周りの人と交代しながら行うとよいでしょう。

次に、「AED(自動体外式除細動器の使用)」による救命処置法です。

AEDとは、電気ショックによって心臓のリズムを正常に戻す機器のことで、音声による指示に従って使うことが出来ます。但し、呼吸や意識のある人には必要はありません。AEDは、公共施設やスーパー等に設置されています。

私達は、救急救命士さんの指導のもと、真剣に受講しました。

この研修で学んだことが、実践できるような常に関心する必要があると感じました。救急救命士さんの丁寧なご指導ありがとうございました。

事務局便り

《地区懇談会開催》

恒例の地区懇談会は、各地区の世話人さんが中心となり、7月13日（日）から8月23日（土）まで12会場で開催されました。



この地区懇談会は、会員相互の意見により地域の活性化を図るとともに、会員さんから直接意見等を事務局が聞かせて頂きシルバー運営に反映し、活力あるシルバーとすること



が目的であり、本年の参加者は、139人で猛暑の中での開催とあって参加率は、27.4%でした。

意見・ご提言は、集約してシルバー運営の参考とさせていただきます。皆様と共に関心のある皆様に世話を通じてお知らせいたします。



懇談会は、事務局からの報告を、今回初めてパワーポイントを使用して、目で分かるよう説明しました。

その内容は、本年度の重点項目である「ワークプラザの建設」・「中長期計画の策定」・「会員の拡大」・「安全就業・安全対策」・「日々の心得」の取り組み状況の説明を行いました。

その後の意見交換では、「地域懇談会のあり方」・「就業の環境条件」・「安全への取り組み」に対する意見を始め、シルバーの運営に対する意見や提言がありました。

この懇談会で皆さんから出されたご

平成26年度安全成績

(平成26年4月1日～8月末)

	安全目標	結果
重篤災害件数	0件	0件
一般災害件数	5件以下	2件
休業日数	120日以下	17日
物損事故件数	5件以下	3件

安全は 家族に贈る プレゼント！

介護・家事援助のご相談はシルバーセンターへ

働く意欲にあふれた介護士さんやヘルパーさんが、学習会や研修会を重ねて「やさしく、ていねい」をモットーに暮らしのお手伝をしています。

なお、家のお掃除・買い物・料理など家事援助も行っております。会員のご親戚や知人にご希望の方がありましたらお気軽にお電話ください。お伺いしてご相談に応じます。

ヘルパー事務所 Tel 22-4611
(シルバーセンター事務所 22-4050)



新入ヘルパー
間山さん

《環境改善グループ 視察研修を終えて》

平野 妙子

7月29日(火)、環境改善グループは、坂本副理事長はじめ13名で堆肥作りの視察研修のため、宝塚市シルバー人材センターを訪問しました。木本常務理事及び担当の職員に快く迎えられ、活動内容について、説明を受けました。



その内容は、平成8年より生ゴミの減量化と資源化の機運が高まり、EMボカシを使って堆肥を作り、自然に戻そうという取組が行われ、それをきっかけに今日まで活動を継続して販売を行っているとのこと

るにあたって、その注意点など多くの事柄を質問させていただきました。堆肥作りに



大切なことは、設備も必要であるが、やはり人の目と手で触れることによる経験が大きく左右するとのこと、私達同好会も力を合わせて確かな堆肥を作り、また、これが環境に優しい物であることを多くの方々に知っていただき、販売することができればと思いました。

【中長期計画策定委員会 先進地視察研修報告】

浦川 勝正

当センターでは、今後のセンター事業の充実発展を見据えた中長期計画を策定するための委員会を発足させました。

8月22日(金)、この計画を策定し、現在既に取り組んでいる箕面シルバー人材センターを訪問して、策定状況等の視察研修を行いました。

当センターから、頭師暢秀(ずし)のぶひで流通科学大学サービスマジカ産業学部准教授委員、来栖正利(くるす まさと)し



担当部門を決め、進捗状況を検証しながら取り組んでおられます。更に活動を充実させるため課題として、営業活動の強化、会員教育

同大学商学部商学科准教授) 副委員長、山本理事長、委員、事務局の12名が参加しました。箕面シルバー人材センターは、第二次までは長期(十年)計画を策定していましたが、第三次から社会情勢の変化が激しいことから、中期(五年)計画とされていきました。今回の第三次中期計画では、基本目標を①会員増強と就業能力向上②就業機会の拡大③安全就業の徹底④適正就業の推進⑤組織運営の充実化⑥財政基盤の確立の6項目を大分類とし、それにa基本計画b実施計画c実施項目を定めて、それぞれに

困ったときは、シルバーへ!! 元気な高齢者の働く団体 **会員募集中** 公益社団法人 箕面市シルバー人材センター 電話 723-8077

PR用シール(公用車に貼付)

等、内容を絞った取り組みを計画しておられました。

実施項目では、特に指定管理事業として箕面市から重度障害児の送迎、各種文化教室(例 そろばん、学習等)の委託を受けるなど多岐にわたって活動されていきました。

当センターの委員会は、箕面シルバー人材センターの活動も参考に、地域の特性に合わせた取り組みを盛り込んだ中長期計画を策定します。

9月～12月は 会員拡大運動重点期間 として取組んでいます 皆様のご協力をお願いいたします

《ボランティア活動》 《相生地区》

市内6小学校(中央小学校除く)が行う校内の清掃作業が8月17日(日)、24日(日)、30日(土)の三日間に、校庭の樹木の剪定、除草や校舎の窓ガラスの清掃に、当センター会員述べ84名が参加しました。

当センターからも作業道具を準備していましたが、会員の中には、草刈機、剪定鋏、鋸等を持参して参加された方もいました。



ボランティア活動等で、社会貢献を果たすシルバーが、地域では不可欠な存在であると感じられ、

今年も児童、職員、PTA等とのふれあいで、和やかな三世代交流となり、有意義な半日でした。

「始めるのはたやすい、それを持続させるのは、一つの技術だ」という諺があります。

シルバーが草を刈り、樹木を剪定



した枝木等を5、6人の児童でシートにいっぱい集めて、集積場へ運んできて「おじいちゃん、おばあちゃんきれいにしてくれてありがとう」と言う子供たちの感謝の言葉と笑顔に今年も清掃ボランティアに参加できてよかつたとの思いが、さらに強くなりました。

子ども達は、きれいになった学校で勉強に運動に、今まで以上に活動してくれることでしょう。

参加された会員の皆さん、汗を流しながら奮闘して頂き、本当にご苦労様でした。

《上郡地区》

7月18日(金)夕方、上郡地区の会員20名は、当日の作業終了後、上郡



町第三庁舎周辺の草刈・清掃作業を実施しました。

時節柄、猛暑のなか熱中症にならないよう水分をとりながらの奮闘ぶりでした。

皆さんの熱心なご協力によって広大な面積が見違えるようにすっきりし、無事終えることが出来ましたこと、本当にご苦労さまでした。



「もみじまつり」に出店を予定

11月9日(日)、相生市主催の「羅漢の里もみじまつり」の開催が予定されています。

当シルバーセンターでは例年通り、「焼き芋」「ちりめんじゃこ」等の販売を予定しております。



また、環境改善グループの「EM石鹼」のほか、「EMぼかし肥料」の展

示・即売も行います。
ご家族お揃いで羅漢の里において下さい。(写真は昨年の出店風景)

《兵庫県シルバーフェスティバル》 開催のお知らせ

兵庫県シルバー人材センター協会が、今年、設立20周年の節目に当り「兵庫県シルバーフェスティバル」を開催します。

●日 平成26年10月25日(土)、26日(日)の二日間
各日とも10時から16時

●場 所 デュオことうべ (JR神戸駅地下街浜側)

●内 容

- ① シルバーコレクション(ファッションショー)のモデル
- ② シルバーパワーステージでのパフォーマンス

その他、児童向け小物販売、刃物研ぎ、障子の張り替え等シルバー人材センターの仕事の実演やPRが行われます。

また、野菜やお米などの即売も行われます。

当シルバーからは、環境改善グループが参加し、EM菌を使った「石鹼」「ぼかし肥料」等、環境浄化活動のPRをします。

会員の広場

「ヘルパーを振り返って」

山下 恵利子



私は、鹿児島県の離島「甌島（おしきじま）」という小さな島に生まれ育ち、相生に来て52年が過ぎました。

島に帰るたび、両親は大変喜んでくれ何かと気遣ってくれました。私たちが相生に帰るときにはいつも「遠いところへ帰るのは大変だろう」と言いながら、私に「主人の親を大切にするように」と言葉をかけてくれました。

主人の両親は、長男夫婦と同居していましたが、父は8年、母は3年の間寝たきりの生活でした。今のようない介護制度もない時代でしたので食事や入浴、そし



て、排泄など介助に大変でした。そんな両親もみんなで見送ることが出来ました。



このことが、私が介護職になるきっかけでした。その後、私は故郷の親に言われた言葉が忘れられず、私に出来る仕事、役立つことはないかと思っていたところ、シルバーに介護の仕事があると知り早速に入会しました。

始めの頃は、生後3か月の女の子守りで人見知りをし、離乳食に大変でした。その後、妹さんも預かり姉妹を4歳まで見ました。その間、育児日記を書き続け、保育所入所でお別れすることになりました。

ある日、女兒のご両親が朝日新聞の「読者の広場」に感謝の気持ちを投稿をなさっていることを知り、私は、大変うれしく思いました。



色々シルバーの仕事をしたが「ヘルパーの資格を取ろう」と勉強を始めシルバー入会後3年で「ヘルパー2級」の資格を取ることが出来ました。

それから2人一組となって、お年寄りが日常出来ない事のお世話をすることになりました。

介護される方には、認知症、リュウマチ、パーキンソン病などの方々も私たちの訪問を待ってくれました。

歌好き、酒好き、怒る人、笑う人、喋ることの出来ない人など様々ですが、それに対応できるよう勉強をしました。

平成12年に「介護保険法による居宅サービス事業」が開始され、当センターも県の認可を受けました。

これを機に、私たちは、一人訪問になりましたが、今までの「老人居宅生活支援事業」からスムーズに移行することが出来ました。

振り返りますと、利用者の何気ない仕種、会話の中から教えられることがいっぱいあります。



長い間、社会に貢献されてきた人生の大先輩であることを念頭にこれからも頑張りたいと思います。

※ 山下恵利子さんのプロフィール

- ▼会員登録 平成8年6月11日
- ▼ヘルパー2級取得 平成11年3月31日

▼趣味 手芸

「表紙のことば」

「造船の町・相生」と言われたのは、今昔の夢となりしも・・・

先日、アムテック工場の船渠(ドック)に入渠している「豪華客船のドック入り」を懐旧の念とともに剪画にしました。



大道 位久男先生

お知らせ

- ◆高齢者自転車安全運転講習会
 - ・平成26年11月16日(日)
 - 10時～12時
 - ・相生自動車教習所

◆親睦会行事

- ▽ボーリング大会
 - ・平成27年1月24日(土)
 - ・相生スカイレーン

親睦委員会便り

「鳴門「鯛料理」と阿波踊り」

平成26年度の親睦委員会研修旅行は、7月5日(土)、相生地区72名、上郡地区30名の会員がバス3台に分乗して、鳴門「鯛料理」と「阿波踊り会館」へ行きました。



特に身のしまった「鳴門鯛」等を昼食に美味しく戴くことが出来ました。

午後からは、約430年以上も続く徳島一のお祭りとして親しまれてきた「阿波踊り」、8月12日から15日までの4日間、10万人の踊り子と100万人の観客で徳島市の中心街は、踊りと熱気で賑わいます。その実演が年中見られる「徳島阿

波踊り会館」に入りまし



女踊りを「ヤットサー・ヤットヤット」の掛け声に乗って会員の皆さんも舞台上に上がって踊りの手ほどきを受けながら踊り、当シルバーから山下丈夫さん、岩下照美さんが優秀賞を受賞されました。

「皆さんは、入館する時より、えらくなつて出てくるんです」、「なんでや?」「えらいやっちゃや、えらいやっちゃ、よいよいよい」と言うではありませんか。



ば阿波踊り」の二拍子が身につつき、浮きうきとした楽しいバス旅行でした。

利用者さんからの礼状

《幸せへの第一歩》

男性 85歳

私は、独居生活が長く続き、人との付き合いがうまくいかず、「つらいなあ」、「いやだなあ」といたずらに悲しんだり、投げやりになったり、不満を持つたりしがちでした。

町内で唯一、心を許しているシルバー会員のMさんに、日常的に何かと相談し、自治会の災害時要救助者にもMさんを指名しました。

5月に老人保健施設のケアマネージャーやMさんの同席のもと市の介護認定調査がありました。

その後、Mさんからシルバー人材センターに介護事業があることを紹介され、お世話になることにしました。当初、介護ヘルパーさんに、家事全般をしてもらうため、週一回来てもらっていました。今では、毎日3名の方々に交代でお世話になっております。

人生経験も豊富なヘルパーさんは、優しく、会話にもキラリと光るものを感じて、安心感を抱いております。勝手気ままな言動をとり、「変人」という世間の声も聞こえてきたこと

もありましたが、おかげさまで、町内の人達にも「この頃、笑顔が見られるようになった」と言ってもらえるようになりました。

今まで、周りを何かにつけて曇りガラスから、見ていたため、見えるものが見えないままになっていたのかも知れません。

山本有三の小説「路傍の石」の中に「働くって、はた(傍)を、らく(楽)にしてやることさ」の言葉を思い出しました。

本当に気持ちが楽になり、まずは、自分自身から、温かい心遣いを持つことが、幸せへの第一歩だと気付かせてくれました。

日々の暮らしの中で、周りの人たちに対して「ありがとう」「ご苦労さま」という感謝やねぎらいの言葉を伝えたいものです。

こんな気持ちが持てるようになったのは来訪して下さるヘルパーさんの人柄だと感謝しております。





パステル画 (犬)
東雲 真沙美 さん

作品介绍



ビーズアクセサリ
間山 珠美 さん

会員の入退会状況

(平成26年5月1日～平成26年8月31日)

【新入会員】 相生27名・上郡3名 合計30名 (敬称略)

相生地区	矢野 国俊	森下 利明	徳 豊子	太田 正孝	本田 諭	大西 俊幾
	小島 幸郎	村上 正二	高嶋 敏雄	上野 豊	山本 勝規	堀端 芳彦
	深田 隆弘	福田 貴子	宇崎 治	宮崎 信男	井上 静夫	間山 珠美
	原田 欣典	宮本 洋美	満田 純子	仙丸 寛	川下喜代香	藤橋 勉
	土井 誠	舛本 覚	大石 文子			
上郡地区	藤本 和博	藤井 哲夫	山下 省二			

【退会会員】 相生16名・上郡2名 合計18名 (敬称略)

相生地区	岡本 修二	与田 一三	吉田 博一	岩見 正之	前田 勝清	佐野 艶子
	小林 和馬	西ヶ野 保	中山 忍夫	花崎 民子	菊池美代子	末谷 勇一
	花井 安夫	中原 英孝	長谷川健三	高嶋 敏雄		
上郡地区	寺内 正秋	香山 正和				

【在籍会員数 (人)】

相生地区	上郡地区	全 体		会員合計
567	101	男性	女性	668
		517	151	

編集後記

「鐘中に響きあり、打たせんば鳴せず」という言葉があります。これは立派な釣り鐘も人が撞木(しゅもく:釣り鐘を打ち鳴らす棒)で打ってこそ素晴らしい音色を発するものです。

自分の中にある思いやりの心も、自ら実行してこそ生きてきます。シルバー人材センターの仕事の紹介は、会員の豊富な経験や知識そして能力を最大限に生かす撞木の役目をしている所だと思います。

多くの人々との出会いや、ふれあいを通して自分の持ち味を生かすことが出来る機会と捉えて「自分を必要とする人のために、持っている知識や技能」を地域社会に活かしたいものです。

編集委員発行 (有田・浦川・濱中・松本・森川)